



〔病院理念〕

やさしく良質な医療を
患者様に提供する
地域密着型病院を
目指します。



〔病院概要・診療科目〕

病院概要

運 営 法 人	医療法人社団 葵会
名 称	柏たなか病院
理 事 長	新谷 幸義
院 長	長谷川 奉延
開 院	平成27年11月1日
許可病床数	512床【急性期病棟126床・HCU（ハイケアユニット）8床・ 障害者等一般病棟92床・緩和ケア病棟20床・ 回復期リハビリテーション病棟60床・ 療養病棟174床・特殊疾患病棟32床】
専用治療室	透析室20床、化学療法室10床、内視鏡室4室
院 内 施 設	予防医学センター（健診） 通所リハビリテーション（デイケア）75名/日

診 療 科

内 科	人工透析内科	脳神経外科	眼 科
呼吸器内科	外 科	形成外科	耳鼻咽喉科
循環器内科	心臓血管外科	小児科	リハビリテーション科
消化器内科	消化器外科	皮膚科	放射線科
糖尿病内科	肛門外科	泌尿器科	救急科
内分泌内科	整形外科	婦人科	
神経内科			





手術室

手術室は3室を設け、外科、整形外科、脳外科、婦人科から形成外科、泌尿器科、眼科といった多岐にわたる手術に対応しています。



急性期医療

高度な医療技術を追求めた、命を救う質の高い急性期医療。

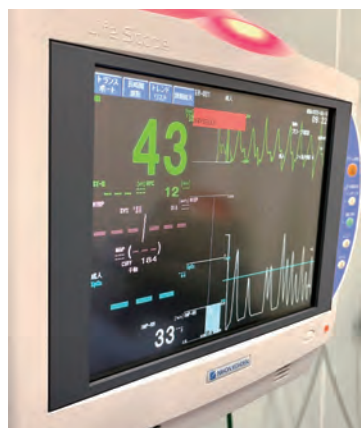
最新の医療機器と優秀な診療科スタッフによる安心で安全な診療が実現できる体制となっています。
また、患者様から高い専門性を強く求められている診療科については、より機能性を特化して再編成。急性期から健診に至る6つのセンター(呼吸器、内視鏡、糖尿病、透析、緩和ケア、予防医学)を有しております。
更に当院では各診療科が横断的に連携を図りながらあらゆる疾病の迅速な診断・治療につなげています。



“断らない救急医療機関”を目指して医師・看護師・放射線技師・臨床検査技師が24時間・365日体制で救急診療に当たっています。
チームワークの一層の充実と、たゆまぬ自己研鑽と熱意と努力で、皆様の健康な生活を守り、地域から頼られる救急部を目指します。

救急部

二次救急医療機関としての使命。
救急科による迅速な応急処置と的確な初期治療によって危険ないし重い病態にあっても最善の結果につなげていく。



当直・オンコール体制

基本的に脳神経外科、整形外科は専門科当直体制をとっています。当直医不在時も、画像転送システムなどの診療支援で迅速な対応を可能としています。



柏たなか病院 救急車
患者様の救急搬送に活躍しています



SIEMENS社製 ARTIS
icono D-spin

呼吸器センター

患者様の呼吸病状にまっすぐ取り組む。
感染症との闘いは次のステージに。

当センターでは市中肺炎、気管支喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、睡眠時無呼吸症候群といったよくみられる疾患から肺がん、間質性肺炎といった専門性の高い疾患まで広く診断、治療しております。

息切れの強いCOPDの患者様対象の包括的呼吸リハビリテーションも行っており、難治性喘息に対する気管支サーモプラスティ（気管支熱形成術）治療にも取り組んでおります。

現在、当院の感染対策室と新型コロナウイルス治療の中心を担っています。

透析センター

継続が必要な透析医療の
充実のために患者様本位で
快適な透析室を実現します。

人工透析内科を中心に循環器内科や泌尿器科を始め各診療科の協力で成り立つ透析センターは、透析科常勤医1名と3名の非常勤医が担当。透析室看護師長及び臨床工学科主任以下、知識と経験豊かな看護師と臨床工学技士が揃い、更に管理栄養士、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー等多職種の専門家が一人ひとりの患者様に安心して安全な治療を受けていただけるようチーム医療として取り組んでいます。各病床にはテレビを備えており、入院透析では透析室と同じ4階の病棟に入ってください、そんな快適で機能的な医療の提供に取り組んでいます。



内視鏡センター

検査時の苦痛の軽減。
患者様一人ひとりに少しでも
心地よく検査に臨んでほしい。

胃・十二指腸及び大腸疾患の診療の最前線をいく内視鏡センターが2021年7月に開設致しました。詳細な観察を可能とした狭帯域光観察システム（NBI）、内視鏡治療に活躍する高周波装置、また患者様の安全管理に欠かせない生体観測モニターなど、設備の充実を図っています。

苦痛や負担を伴うと思われがちな内視鏡検査ですが、これらの新たな設備や光学技術の進歩、経験豊かな常勤スタッフの丁寧なサポートによって検査時間の短縮や苦痛の軽減に最大限取り組んでいます。



化学療法室

薬物治療に前向きに取り組む
患者様に、より良い治療の場を
提供し、通院での抗がん治療時の
副作用や不安の緩和を図る。

10床を有する化学療法室にて、肺がんを始め悪性腫瘍に対する各種抗がん剤治療を行っています。患者様のライフスタイルに合わせた通院治療が可能です。落ち着いた環境で安心安全を第一に、医師や専任のがん化学療法認定看護師、薬剤師等の専門スタッフが協力し合い、患者様に最適な治療を提供できるよう一貫した体制でサポートさせていただきます。



急性期病棟

スピード感の求められる病棟で、迅速安全良質な医療の提供。

3つの病棟から成る126の一般病床で患者様の治療にあたり、完備した8床のHCU（高度治療室）では、重症患者様及び重症化リスクの高い患者様に対し、万全な体制で臨みます。



緩和ケア病棟

患者様にとって幸せな時を過ごす、第2の家でありたい。

緩和ケア病床は全て個室となっています。患者様一人ひとりの気持ちに寄り添い、痛みを和らげ、温かみを感じて頂ける、そして穏やかに自分らしく過ごせるように支援します。



透析室につながる病棟

障害者病棟

医療的全身管理。

神経難病や障害のある患者様、透析患者様など手厚い看護を必要とされる患者様への全身管理を優しい心で行っています。

療養病棟

病院での療養が継続して必要な患者様に。

急性期の治療を終え、ある程度病状が安定してもなお医療の必要度が高く、引き続き入院での療養が必要な患者様を受け入れています。患者様・ご家族様が安心して過ごしていただける環境を提供いたします。



回復期リハビリテーション病棟

『すべては患者様のために』

回復期リハビリテーション病棟では日曜日、祝日も含め365日、1日最大3時間のリハビリテーションを実施しております。最先端の治療機器も積極的に導入し、患者様の日常生活動作（移動、移乗、更衣、食事、入浴、整容、排泄）の自立を目標としたリハビリテーションを実施しております。また、職場復帰や社会復帰、家庭内の役割を再び担えるように、そのために必要なことを患者様と共に大切に考えていきます。



リハビリテーション

急性期、回復期、生活期、全ての病期で、患者様主体のエビデンスに基づいたリハビリテーションを実施しております。

リハビリテーション部総勢100名を超える療法士が多職種協働（チームアプローチ）の考えに基づき、日々患者様の身体機能および身体能力や日常生活動作（ADL）能力の回復に努めております。免荷式歩行訓練機器や神経筋促通電気治療器等の最新機器も完備しています。



特殊疾患病棟

2020年8月に開設した最も新しい病棟。

長期にわたり療養が必要な脊髄損傷・意識障害等の重度障害者や、筋ジストロフィー等難病の患者様それぞれの状態に合ったケアをより明るい病棟で提供いたします。





予防医学センター

最新の設備で、がんや生活習慣病(高血圧、脂質異常症、糖尿病、痛風、肝臓病、虚血性心疾患、脳梗塞など)といった重大な病気の早期発見に努め、診断から予防まで皆様の健康管理をお手伝いします。

健診内容

- 人間ドック
- 脳ドック
- 生活習慣病予防健診
- 労働安全衛生法に基づく法定健診
- 雇入時健診
- 深夜業健診

柏市市民健診

- 柏市国民健康保険特定健康診査、人間ドック、脳ドック
- 柏市がん検診(乳がん、子宮がん、大腸がん、胃がん)
- 肝炎検査
- 骨粗しょう症検査
- インフルエンザ予防接種

デイケア

通所される方のために

住み慣れたご自宅での生活を継続できるようにするためにリハビリやレクリエーションなどを通じ、身体機能の維持向上だけでなく、残存能力を最大限活かすことで、生活機能及び生活の質(QOL)の向上を目指します。



健やかな明日のために。
柏たなか病院ができること。

